

株主の皆さまへ

第 68 期 株主通信

2024年4月1日～2025年3月31日

 **かじや製油株式会社**



ひらけ、ごまの可能性。



代表取締役会長

久米 敦司

代表取締役社長

北川 淳一

株主の皆様には日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

167年前の創業時から守り続けているおいしさ・安心・安全へのこだわりは変えることなく、“ごま”の可能性をひろげてまいります。

私たちが思い描いているのは、かどやから生まれた「おいしさ」が、世界中の様々なシーンで愛用され、人びとを笑顔にしている姿です。そんな未来を、社員全員で、創ってまいります。

これまで支えてくださった皆さまへの感謝を胸に、かどやは、新たな挑戦を始めています。次の167年に向けて、ぜひ一緒に歩み、見届けていただければと思います。

当期の業績

2025年3月期におけるわが国経済は、為替レートの円安基調やインフレ進行に伴う原材料価格の更なる上昇、人手不足等に伴う人件費の増加等が、企業収益を圧迫しました。世界経済においては、各国で物価動向に応じた中央銀行の金融政策が注視される中、地政学的リスクや米国大統領の交代等もあり、先行きが不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、原材料価格の高止まりや為替レートの円安基調等を背景として、基礎食材を中心に値上げの傾向が継続しており、このことから消費者の節約志向が続いております。一方で、外食産業は、外食への消費マインドの上昇やインバウンド需要等により、回復傾向にありました。

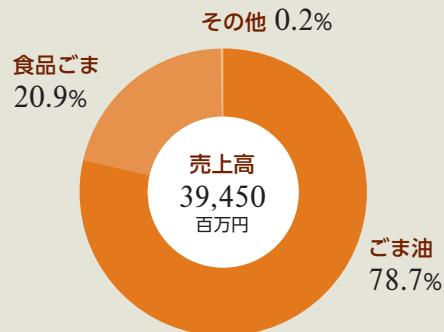
こうした事業環境のもと、当社グループは、厳格な生産体制の維持・管理を行いながら、効率化によるコスト削減や製品の販売価格は正を行い、収益性の確保に取り組みました。

この結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高39,450百万円(前期比3,769百万円増)、経常利益は3,394百万円(前期比14百万円減)、親会社株主に帰属する当期純利益は2,357百万円(前期比101百万円増)となりました。

(百万円)

売上高	2024年3月期	2025年3月期	前連結会計年度比
ごま油	27,648	31,081	112.4%
食品ごま	7,896	8,269	104.7%
その他	135	99	73.6%
合計	35,680	39,450	110.5%

※金額は表示単位未満切捨て



※小数第二位以下切捨て

来期の見通し

2026年3月期の事業環境は引き続き先行き不透明な状況で推移すると思われます。世界経済は、原油を始めとするエネルギー価格、資源価格の高止まりや、物流状況の逼迫等により、物価上昇圧力が高まっています。また、最近の米国による関税政策の変更が世界経済に影響を与えています。国内経済においても、世界情勢の影響を受け、政情の混乱に伴う為替の乱高下や物価高の進行による家計逼迫、個人消費の落ち込みが予測されています。

こうした状況の中、当社はグループ全体として家庭用・業務用・輸出用のバランスを取った事業展開を行うことで情勢の変化に対応してまいります。また、2023年11月に見直しを行った中期経営計画の目標である2029年3月期経常利益50億円達成に向け、将来の収益基盤強化のための投資を行うとともに、事業ポートフォリオの拡大、海外事業の強化や生産・物流効率化によるコスト削減を推進してまいります。

以上のことから、2026年3月期の連結業績見通しは、売上高40,000百万円、経常利益3,200百万円、親会社株主に帰属する当期純利益2,150百万円、為替レートは145円/US\$を予想しています。

株主の皆さまへ

当社グループは株主の皆さまへの利益還元を経営の重点課題の1つに位置づけております。2025年3月期の期末配当金は、親会社株主に帰属する当期純利益(連結)の40%を配当性向の目処とする基本方針に基づき、1株につき普通配当100円とさせていただきます。2026年3月期については、現状、1株当たり95円(連結配当性向40.7%)の配当を予想しております。

当社グループは、社員アンケートやワークショップを通じて多くの対話と議論を重ね、経営理念および企業行動憲章を礎に、新たに「パーパス(存在意義)」「ビジョン(大切にしている価値観)」「バリュー(ありたい姿)」を策定いたしました。

私たちは、「美味しく健康に良い“かどやのごま油”」を、世界中のより多くの人びとにお届けし、当社ブランドのファンになっていただくことを目指してまいります。

これからも皆さまの声に耳を傾けながら、中長期的な企業価値の向上を実現し、世界中の食卓に笑顔と健康をお届けできる企業であり続けることを目指してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも当社に対するご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

売上高

(百万円)



連結

経常利益

(百万円)



連結

親会社株主に帰属する 当期純利益

(百万円)



連結

(注1)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第65期の期首から適用しており、第66期に係る各数値については、遡及修正後の数値となっております。

(注2)第67期より「重要なヘッジ会計の方法」の変更に係る会計方針の変更を行っており、第66期に係る各数値については、遡及修正後の数値となっております。

全社員対象のアンケートや社員各階層が参加するワークショップでの「かどやが捨てるべきもの・守るべきもの・加えるべきもの」等に関する議論を経て、2025年4月にパーパス・ビジョン・バリューを制定。



Values (大切にする価値観)

- ご：ごまのバイオニア
- ま：まずは、お客様第一主義
- せ：誠実、公平、偽りなく行動
- さ：差別なく、異なる考え方、文化、社会に敬意
- み：自ら望む、常に変化を生む

Vision (ありたい姿)

「ごま」を通じて社会課題の解決に取り組み、社員と会社の両方が持続的に成長する。



Purpose (存在意義)

ごまの価値を極限まで高めることで世界に貢献する。

ファンベース経営の実践

かどやのごま油で世界中の方々に笑顔届けたい！

- ◆ 当社が大切にしている価値を支持してくれる人(=ファン)を社内外で増やし、ファンを基盤にして企業価値を高める経営(=ファンベース経営)を実践する。
- ◆ 機能価値に加えて、情緒価値／未来価値も高めることで、ファンにとっての「特別な存在」を目指す。



当社の取組に対して世界中の人びとに共感していただき、ファンになっていただきたい

世界中のあらゆる店舗・食卓に
かどやのごま油が並ぶ世界を目指す！



海外市場 海外事業の売上で過去最高額を達成

今後も人口伸長が見込まれる米国を販売の土台として維持・拡大を進めてまいります。

海外売上高

北米を中心とする海外市場での需要は引き続き堅調に推移し、海外事業の売上が過去最高となりました。



展示会の様子

米国人口動態予測

人口成長率の高い市場であるオリエンタル市場に加え、アジア系以外(メインストリーム市場)へも拡大してまいります。



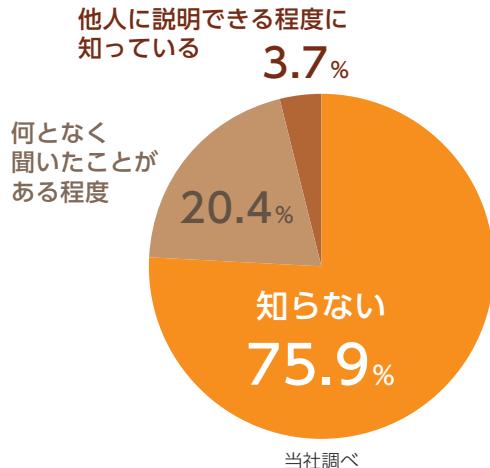
出典元: 2023/the United States Census Bureau

国内市場

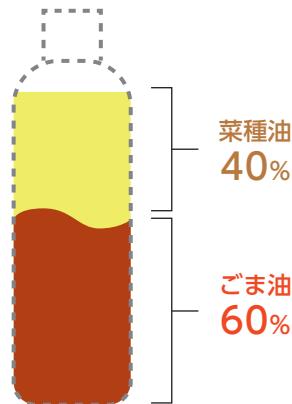
国内市場における価値伝達の取組

- 家庭用調合ごま油を「ごま油100%」と誤解している消費者が75%を超える。

75%を超える消費者が純正と調合の違いを知らない



一般的な調合ごま油



純正ごま油



- ごま油100%であることが、大切な価値である「おいしさ」の理由であることをしっかりとお伝えし、ファンの皆さまのご理解を深めていく活動にも注力してまいります。

純正ごま油のおいしさをお伝えする動画の一例

かどやの純正ごま油 WEB CM
「ファンの声篇」30秒ver.

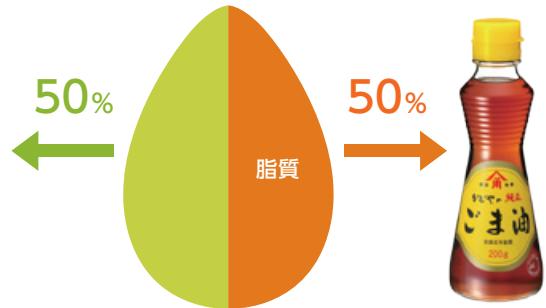
<https://www.youtube.com/watch?v=mXutvn4basM>



脱脂ごま (搾りかす) の食品利用に向けた取組

ごまの半分は“脱脂ごま”

ごまは約 50%が脂質(油)のため、ごま油の製造工程で残り半分が“脱脂ごま”となります。“脱脂ごま”とはごま油を搾った後に残る、油分が抜けた状態のごまを指し、主に動物の飼料として利用されています。



たんぱく質クライシス!?

たんぱく質クライシスとは、世界的な人口増加や新興国の成長に伴い、2030-2050年には全世界的にたんぱく質の需要が供給を上回る可能性があるという状況を指します。そのような問題を抱える中で、国内の植物性たんぱく質素材の需要は年々増加傾向にあります。

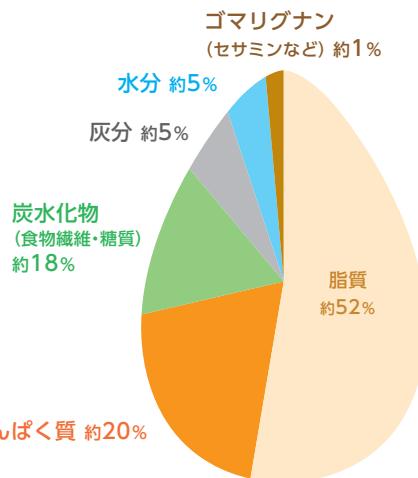
世界のたんぱく質需給



出所: ニューススイッチ。(2024年05月02日)、三井物産・双日・兼松…商社がたんぱく質確保に走る理由。
<https://newsswitch.jp/p/41410>および野村総合研究所<https://www.nri.com/content/900033109.pdf>をもとに自社作成

たんぱく質クライシスの救世主に！ 実は栄養満点の“脱脂ごま”

ごま1粒にはたんぱく質や食物繊維などの炭水化物がそれぞれ20%ほど含まれており、強い日差しの下で強く育ったごまの栄養分がぎゅっと詰め込まれています。毎日たくさんのごま油を搾っているかどや製油では、ごま油だけでなく、脱脂ごまをより付加価値のある製品にすることを、ごまのリーディングカンパニーである私たちの使命の1つであると考えています。そして“脱脂ごま”を活用した加工食品等の商品化実現に向け、複数のパートナー候補企業様との協議を開始しました。



出典元：日本食品標準成分法(八訂)を元に自社作成

ごまのたんぱく質を商品化！

「もったいない」から生まれた『セサミプロテイングラノーラ』



ごま油の製造過程で生じるごまのたんぱく質を使い切るために、株式会社オリゼと共同でプロテイングラノーラを開発しました。農家さんが1粒1粒丁寧に収穫してくれたごまを使い切らないのはもったいない！そんな思いから生まれた『セサミプロテイングラノーラ』です。『ごまの実オイル』の製造過程で生じる「脱脂ごま」を活用した、アップサイクルな商品です。



プレスリリースはコチラ

<https://www.kadoya.com/system/wp-content/uploads/2025/03/be3a53776729f25a52b00df9bb3c2bc9.pdf>



脱脂ごまをふんだんに使用した新感覚グラノーラ。封を開けると、香ばしいごまの香りが広がり、食欲をそそります。牛乳やヨーグルトをかければ、また違った味わいに。たんぱく質もたっぷり健康にも嬉しい、ごまの風味を最大限に生かした商品です。



「JTB 20年先の小豆島をつくるプロジェクト」に参画

創業から167年間、今も変わらずごま油の製造を続けている小豆島では、1950年代から始まった人口減少が止まらず、“日本の縮図”ともいえる社会課題を抱えています。小豆島における最大企業として、「JTB 20年先の小豆島をつくるプロジェクト」に参画し、観光・教育・環境の各分野で課題解決に取り組んでまいります。

プロジェクト 3つの軸



小豆島工場の歴史資料館「今昔館」の移設およびリニューアルを検討しております。観光での立寄り場所の1つとして、国内外からの観光誘致場所となり得る、レストランやお土産の販売、体験型の工場見学の併設等の可能性も含め、観光事業での連携を検討しています。



当社歴史資料館「今昔館」

将来を担う小豆島の子どもたちの未来へ、健やかな笑顔のきっかけづくりとして、かどやの食育活動「ごまんぞく給食」を実施しています。ごまを通じて、食の大切さを学ぶ機会を提供してまいります。



ごまんぞく給食の様子

ごまでつながる持続可能な島を目指した地域創生プロジェクト「ごまのみらい小豆島プロジェクト」を立ち上げ、行政・地域との連携によりごまを栽培し、収穫したごまを使用した商品化を計画しており、持続可能な地産地消を目指します。



ごまのみらい小豆島プロジェクトの様子

ごま生産地における農家支援

当社が目指すのは、単なる製品づくりではなく、ごまに関わるすべての人びとが笑顔になれる未来の創造です。ごまの生産は今も多くの工程が人の手に支えられており、厳しい環境の中で栽培が行われ、収穫や収入の安定が難しいという課題があります。

農家の方の努力が正当に報われ、「ごまを育ててよかった」と思える環境をつくることを目的として、当社はパートナー企業を通じて、2021年よりごまの主要生産国で農業技術指導などの支援を継続しております。



タンザニア

タンザニアにおいてはETG社と協力して取り組みを実施。年度によって天候不良もあったが、反収は400kg/ha程度から安定的に600kg/haを超えるようになりました。



ナイジェリア

ナイジェリアにおいてはOlam社と協力して取り組みを実施。指導前の反収は250kg/ha程度と低かったが、現在では400kg/ha目前まで収量が改善しています。



パラグアイ

生活水準の引き上げのため、政府がごま栽培を推奨しており、現地サプライヤーと共に技術指導を実施しています。



会社概要 (2025年3月31日現在)

商号	かどや製油株式会社 (Kadoya Sesame Mills Incorporated)
資本金	21億6,000万円
創業	安政5年(西暦1858年)
設立	1957年5月2日
事業内容	ごま油、食品ごま等の製造販売
従業員数	418名(連結:545名)
事業所	本社 工場/小豆島工場、袖ヶ浦工場 支店/仙台支店、東京支店、名古屋支店 大阪支店、広島支店、福岡支店 営業所/札幌営業所
子会社	カタギ食品株式会社

株主メモ

事業年度 基準日	毎年4月1日から翌年3月31日まで 毎年3月31日 そのほか必要ある場合には、あらかじめ 公告いたします。
定時株主総会	毎年6月下旬
期末配当金支払株主確定日	毎年3月31日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関 (電話お問合せ) (郵便物送付先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711(通話料無料)
公告方法	電子公告 ただし、事故その他やむを得ない事由により、電子 公告をすることができない場合は、日本経済新聞 に掲載いたします。 <公告掲載アドレス> https://www.kadoya.com/ 東京証券取引所 スタンダード市場
上場取引所 証券コード	2612

かどや製油株式会社

本社 〒141-0001 東京都品川区北品川5丁目1番18号
TEL 03(6721)6957
<https://www.kadoya.com/>

株主優待制度について

日頃の感謝を込めて、毎年3月31日現在
100株以上お持ちの株主様へ、「ごま製品
詰め合わせセット」を贈呈しております。
本年も小豆島ならではの特産品も含めた
特製セットをお届けします。
ご家族やご友人の皆さままでお試しいただ
けましたら幸いです。

割当基準日	3月31日
基準	1 所有株式数 100株以上保有の株主様 2 所有株式数 1,000株以上保有の株主様
内容	1 1,500円相当の当社製品詰め合わせ 2 3,500円相当の当社製品詰め合わせ
贈呈時期	お届けは6月中旬～下旬頃の予定と なります。



100株以上保有株主様への贈呈品例



1,000株以上保有株主様への贈呈品例